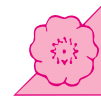


2014
10 月号
第464号

広報
かざまうら
KAZAMAURA

村の花鳥木



はまなす



かもめ



ひば

発行 風間浦村役場
編集 総務課
HPアドレス <http://www.kazamaura.jp/>
印刷所 協同印刷工業株式会社



同志社大学社会福祉学科学生（大石神社祭典参加交流）

▶今月の内容◀

- 2 同志社大学社会福祉学科フィールドワーク事業
- 3 青森県民駅伝競走大会
- 4 風間浦小新築工事安全祈願祭／連合婦人会交流会
- 5 風間浦ウォーキング／第1回メディコトリム開催
- 6～12 お知らせ
- 13 年金だより
- 14 健康だより
- 15 社協だより
- 16 はじめまして／青森県民体育大会／戸籍の窓

▶村民憲章◀

- 1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

同志社大学社会福祉学科 「フィールドワーク事業」

9月16日から18日の三日間の日程で同志社大学社会学部社会福祉学科の学生14人と野村裕美准教授が来村し、村内各小学校や風間浦保育所、



役場庁舎前で記念撮影

社会福祉協議会や大間高校において交流実習を行いました。

今年で6回目となるこのフィールドワークは、同志社大学で社会福祉学を学んできた最終年度学生の集大成として、本学と親交の深い風間浦村において、専門演習での学びを実践し、交流を深めることを目的に実施されております。

初日の学生たちは、飯田浩一村長と面談した後、越膳泰彦教育長より「風間浦村と同志社」と題して講演をして頂き、「わいどの木」へも訪問しました。

二日目は、下風呂、蛇浦小学校、風間浦保育所を訪問して子どもたちと交流実習を行いました。また、大間高校では、これまでゼミで学んできたグループ討議法を用いて、同大生と高校生との色々な世代での活発な全体討議が行われました。

最終日は、社会福祉協議会への訪問や、易国間地区の大石神社祭典へ易国間小学校の子供たちと一緒に参加するなど今回も村内の色々な方々との交流を深めることができました。



下風呂小での交流実習



風間浦保育所での交流



易国間小の子ども達との祭での交流



蛇浦小での交流実習

第22回青森県民駅伝競走大会 風間浦村チームのメンバー

- | | | |
|-----|-----|----------------|
| 監督 | 林 拓 | (風間浦中学校陸上部コーチ) |
| 第1区 | 金 威 | (むつ消防署) |
| 第2区 | 長 悠 | (風間浦中学校3年) |
| 第3区 | 大 野 | (大間高等学校3年) |
| 第4区 | 坂 本 | (風間浦中学校講師) |
| 第5区 | 小 山 | (風間浦中学校3年) |
| 第6区 | 佐 賀 | (大間高等学校2年) |
| 第7区 | 木 下 | (風間浦中学校2年) |
| 第8区 | 大 山 | (風間浦中学校3年) |
| 控 区 | 高 杉 | (風間浦中学校3年) |
| 同 区 | 宮 下 | (風間浦中学校1年) |
| 同 区 | 柴 田 | (蛇浦小学校校長) |
| 同 区 | 石 橋 | (蛇浦小学校校教諭) |
| 同 区 | 田 中 | (易国間小学校校教諭) |
| 同 区 | 阿 部 | (下風呂小学校養護教諭) |

第22回 青森県民駅伝 競走大会

第22回青森県民駅伝競走大会が、9月7日(日)、青森市において開催されました。

本村チームは、第40位(参加チーム数40)でした。

厳しい暑さの中を走りぬぎ、村民に勇気と感動を与えた選手の皆さんに感謝し、今後、更なる活躍を期待します。



風間浦村チームのみなさん

青森県民駅伝を 走り終えての感想

去年に引き続き、第1区を走らせていただきました。去年より速いタイムで走ることができましたが、順位を上げることができず悔しい思いでいっぱいです。来年度こそは順位を上げ、タスキを繋げたいと思います。応援ありがとうございます。

金森威明

僕は今回初めて県民駅伝に参加しました。当日では、すごく緊張してしまいました。走りでも、自分のペースで全然走れずにだめな結果になってしまったって本当に悔しかったです。今回の経験はこれからにいかしていけると思うし、もっと、もっとスポーツを頑張りたいなと思います。

長谷悠平

2年ぶりに県民駅伝に出場いたしました、3区を走りましたが区間39位と、自分の走りができずとても悔しいです。来年以降走る機会があるならまた走りたいです。応援ありがとうございます。

大野博明

私にとって、初めての駅伝は、悔しさだけが残る形で終わってしまいました。競技中は沿道の方々からの声援の嬉しさと、自分の不甲斐なさとが入

り交じり、涙がこみ上げました。また生徒たちとともに練習頑張ります。日は決戦

坂本一真

私は今年初めて県民駅伝の選手として参加しました。私のところで赤タスキにしてしまいました、とても悔しかったです。来年も参加できるようにがんばりたいです。応援ありがとうございます。

小山楓花

今回初めて一般の区間を走って他の市町村との差を痛感し、いい結果が出せず悔しかったです。来年のチームには今年よりもいい走りをしてもらいたいです。

佐賀雅英

私は今回の駅伝で去年と同じ7区を走りました。暑くても走り切ることができたり、去年より1分以上タイムを縮めることができたのがよかったです。また来年も走ることにしたら、さらに1分以上タイムを縮めて走れるように頑張りたいです。

木下彩花

県民駅伝では、とてもいい走りができました。本番の時は、とても体がカチカチでしたのでしっかりと体をほぐすように足をもんだり、たいたいたりしてとても楽になりました。競技場に入ってから歓声にこたえるように精一杯走りました。

大山一樹

「風間浦小学校」 新築工事安全祈願祭開催

9月11日、風間浦村小学校校舎・体育館新築工事の安全祈願祭が、易国間古野台の建設予定地において開催されました。

安全祈願祭には村関係者及び工事関係者など60人が出席し、くわ入れなどの神事が行われ、飯田浩一村長から新校舎建築工事の安全を祈願する挨拶が述べられました。



参加関係者



飯田村長挨拶



飯田村長によるくわ入れ

蓬田村・風間浦村 連台婦人会交流会

8月30日(土)蓬田村婦人会と風間浦村連合婦人会交流会が下風呂公民館で開催されました。

蓬田村からは、21名の婦人会員が参加し、風間浦村連合婦人会員20名の方々との交流が図られました。

開会式では、浜辺緑会長から歓迎の挨拶があり、続いて蓬田村の久慈修一村長から、心温まるお言葉を頂きました。

交流会では下風呂温泉郷を中心に鳥賊様レース・いさりび公園見学・足湯体験などが行われました。
昼食には、村連合婦人会の手作りのおもてなし料理が振る舞われました。

また、越膳泰彦教育長による講話では、「風間浦村と同志社」についてが紹介され、最後に蓬田村婦人会・村連合婦人会それぞれによる踊りの披露があり、実り多い交流会となりました。



鳥賊様レースを楽しむ婦人会の皆さん



参加者みなさんで記念撮影



踊りの披露

風間浦 ウォーキング2014を開催

9月4日に風間浦村ウォーキング2014が開催されました。当日は気持ちのよい秋晴れとなり、総勢30名の方に参加していただきました。

今年度は易国間の町中を歩くコースに変更し、参加者の体力に合わせて、2.7kmのゆるやかコースと坂道を歩く約4kmの二種類のコースを設定しました。坂道では息の上がつている参加者もいましたが、見慣れた町並みを見直すきっかけにもなり、風景を楽しみながら歩いていました。

終了後は、食生活改善推進員のみなさんによる減塩の根菜スープがふるまわれました。おかわりをする方もいて、大変好評のうちに終わることができました。

ウォーキングは肥満やメタボリックシンドローム解消に有効であると言われています。村民の健康維持・増進のためにも、今後も取り組みを続けたいと思います。



みんなで記念撮影



さあ、出発

第1回 「メデイコトリム」の開催

村では、健康寿命の延伸を目指した取組として8月21日と9月8日に1回目のメデイコトリムを実施しました。

メデイコトリムとは、医師等のアドバイスのもと食事、運動などを組み合わせて生活習慣病の予防や改善と重症化防止等を目指すことです。今回の第一期生には、20代から70代までの18名が参加しました。

一日目は各個人の現状把握のために体力測定や普段の食事を記録したり栄養講義を受け食生活を振り返りました。二日目は、膝・腰関節を守るための筋トレの仕方や正しい姿勢で歩くためのウォーキングの方法などの運動実技が行なわれ参加者達は健康知力を高めていました。

また、8月21日からの三週間で早速効果が現れた参加者もいました。県病メデイコチームより運動の方法や食事バランス等のアドバイスメモが各個人に対して渡され、第一回目のメデイコトリムは終了しました。

村では、本年度中に第二期生を募集する計画です。健康知力を高める良い機会となりますので皆様のご参加をお待ちいたします。



県病メデイコチームのみなさん



正しい歩き方実技

お知らせ

～information～

平成28年4月下風呂・易国間・蛇浦小学校の新設統合に向けて ★風間浦小学校の校章を募集します★

下風呂小学校・易国間小学校・蛇浦小学校は、平成28年4月に統合し、新しい小学校が古野台に開校します。現在本体工事等が順調に進められています。

新設小学校の名称は「風間浦小学校」です。

「風間浦小学校」のシンボルである校章のデザインを下記のとおり募集します。

●たくさんのご応募をお待ちしています●

【応募要領】

■応募資格

村内外を問わずどなたでも応募できます

■募集期間

平成26年10月15日(水)～平成26年11月28日(金)(必着)

■応募方法

①専用応募用紙(裏面)又はA4白色用紙に一辺10cm程度の正方形にデザインしてください。専用応募用紙は、教育委員会、役場窓口、下風呂公民館窓口に備え付けてあります。また、風間浦村ホームページからダウンロードできます。

風間浦村ホームページ <http://www.kazamaura.jp/>

②カラー、白黒、手書き、パソコンなど作成方法は問いません。

③専用応募用紙を使用しない方は、用紙の余白部分に作品の説明(100字以内)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

④1人何点でも応募できますが、用紙1枚に1点のデザインとしてください。

⑤作品は、郵送、FAX、電子メール、直接提出のいずれかの方法でご応募ください。

※記入された個人情報、校章を選定する目的のみで使用します。

■選定方法

風間浦村教育委員会で、応募された校章デザインの中から校章候補を選定し、行政及び教育関係者の意見を参考として決定します。なお、場合によりデザインの一部修正又は図案化校正を専門家に依頼することを予めご承知ください。

■選考結果

新しい校章は、正式決定後、本人にお知らせするとともに、村広報紙、ホームページで発表します。その際氏名等を公表しますのでご了承ください。

■応募作品の取扱い等

①作品は未発表のオリジナルに限ります。(他の著作権に触れないようご注意ください。)

②応募に要する費用は応募者の負担とします。

③応募作品は返却しません。採用された校章の一切の権利は、風間浦村教育委員会に帰属します。

■賞品

採用作品には、記念品を贈呈します。

■問合せ・応募先

【担当】風間浦村教育委員会 教育G 富岡

受付時間 午前8時15分～午後5時00分

〒039-4502 風間浦村大字易国間字大川目28-5

電話：0175-35-2210 FAX：0175-35-2123

メールアドレス hiroshi_tomioka@kazamaura.jp

※応募用紙は、役場窓口・教育委員会及び下風呂公民館窓口にありますのでご利用ください。

困ったら 一人で悩まず 行政相談

10月20日～26日は「行政相談週間」です。これにちなみ、行政相談所を開設します。村民の皆様が、毎日の暮らしの中で、役所が行う仕事に関する苦情や意見・要望などがあった時に、もっとも身近な相談相手になるのは、行政相談委員（総務大臣が委嘱）です。

道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど、役所が行う仕事について、お気軽にご相談ください。

相談は無料で、相談者の秘密は守られます。

◇日 時 10月23日(木) 午後1時～午後4時

◇場 所 下風呂公民館 研修室

◇相談担当 行政相談委員 工藤 憲一

【お問い合わせ先】 風間浦村役場総務課 ☎ 35-2111

平成26年度「青森県防火の集い下北大会」開催

下北において約10年ぶりの開催となる青森県防火の集いは、県内の婦人防火クラブおよび幼年・少年防火クラブを中心とした防火関係者が一堂に会し、防火を誓い合うことにより火災による被害を未然に防ぐことを目的とした大会です。

すべての住宅に設置が義務づけられている住宅用火災警報器の抽選会や、幼年消防クラブの防火演技等を行いますので、皆様のご来場をお待ちしております。

〈日 時〉 平成26年10月29日(水) 午前10時～正午

〈場 所〉 下北文化会館 大ホール むつ市金谷一丁目10番1号

〈実施内容〉 アトラクション（並木保育園・大間幼稚園・こども園ひがしどおり各幼年消防クラブ員による防火演技および福浦少年消防クラブによる体験発表）、住宅用火災警報器抽選会、防火の誓い、防火宣言等

【お問い合わせ先】 消防本部予防課（直通）☎ 22-4196
風間浦消防分署 ☎ 35-2101

消防分署からのお願い



救急車を要請する際に、
「サイレンを鳴らさないで来て下さい。」
とのお願いがありますが、緊急車両である救急車は
通行の安全が確保できるまでサイレンは止められません。

皆様方の御理解をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】 風間浦消防分署（☎0175-35-2101）

手続きは、お済ですか？

臨時福祉給金 と 子育て世帯臨時特例給付金 の申請期間は、
平成26年10月15日(水)までです。

まだ、お済でない方は、お早めに手続きしてください。
該当する方には、申請書が7月中に送付されています。

- 手続き方法** ①申請書と添付書類を同封されている返信用封筒にて送付して下さい。
②申請書類を村民生活課（げんきかん）までお持ち下さい。
- 申請書類** ①申請書
②免許証、保険証等身分のわかるもの。
③振込する通帳の口座番号のわかるコピー。

○ **臨時福祉給付金**

所得の低い方の負担を緩和します。

○ **子育て世帯臨時特例給付金**

消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えをはかる、観点から、臨時的な給付措置として実施します。

※手続きに来られない方、不明な点は、下記まで連絡下さい。

村民生活課 ☎ 35-3111（福祉介護G）

陸上自衛隊 高等工科学校生徒募集のお知らせ

〈受付期間〉平成26年11月1日(土)から平成27年1月9日(金)まで（締切日必着）

〈募集人員〉約260名

〈応募資格〉平成27年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業者（平成27年3月卒業見込みの者を含む。）

・第1次試験

・試験期日 平成27年1月24日(土)

・試験場 海上自衛隊大湊地方総監部

・第1次試験合格発表 平成27年1月30日(金)

・第2次試験

・試験期日 平成27年2月5日(木)から8日(日)までの間の指定する1日

・試験場 第1次試験合格通知でお知らせします。

【問合せ・申込先】自衛隊青森地方協力本部むつ地域事務所（TEL0175-22-7484）

下北半島フォトコンテストのお知らせ

下北観光協議会では自然豊かな風景のみならず地元の方々、伝統行事など、“あなたが感動した下北半島”をテーマに下北半島フォトコンテストを開催します。

〈撮影場所〉 むつ市・大間町・横浜町・東通村・風間浦村・佐井村内

〈応募資格〉 プロ・アマチュア問いません

※応募者本人が撮影したもので、未発表のものに限る

(平成26年1月以降に撮影したもの)

〈応募方法〉 作品はカラープリント（サイズはA4または四つ折り）し、下部応募用紙にご記入の上、応募作品一点ごとに作品の裏側にセロハンテープ等で貼り付けし、下北観光協議会事務局へ郵送又は持参してください。応募用紙がない場合は、下記必要事項を記入した任意の用紙を貼り付けて応募してください。

1. 撮影者氏名（ふりがな）
2. 性別
3. 年齢
4. 郵便番号・住所
5. 電話番号
6. 作品名
7. 撮影年月日
8. 撮影場所
9. 撮影した理由・コメント
10. フォトコンテストを何で知りましたか（全10項目）

〈発表〉 平成27年7月（予定）

※一次審査は平成27年3月に行います。一次審査を通過した方には郵送で通知します。

【お問い合わせ先】 下北観光協議会事務局（むつ市商工観光課内）

〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号

☎ 2 2 - 1 1 1 1 内線 2 6 4 6

◆ペット講習会開催◆

愛犬の口の特徴や歯周病の発生状況、家庭で簡単にできる口腔ケアの方法について一緒に勉強してみませんか。

飼い主さんはもちろん、これから犬を飼いたいと思っている方もお気軽にご参加ください。

〈日時〉 11月8日(土) 13:00~15:00 (ティータイムあり)

〈場所〉 プラザホテルむつ (むつ市下北町2-46)

〈講師〉 (株)ビルバックジャパン 富田 聡 氏

〈演題〉 「お口は健康ですか? ~本当は怖いワンちゃんの歯周病~」

〈参加費〉 無 料

〈定員〉 60名 (先着順)

〈申込方法〉 11月4日(火)までに電話・FAX・メールにて申し込み

(FAXまたはメールにて申し込みをされる場合は、氏名・住所連絡先電話番号を必ず明記してください)

〈注意事項〉 机上講習になりますのでペットの同伴はできません。

未就学児の参加はご遠慮ください。

【申込・問合せ先】 公益社団法人青森県獣医師会下北支部

電話/FAX: 0175-23-6858 E-Mail: shimovet@jomon.ne.jp

独立行政法人海洋研究開発機構 講演会

〈いつ〉 平成26年10月23日(木) 13:30-16:30

〈どんな〉 有人潜水調査船「しんかい6500」を有する海洋研究開発機構の活動状況や研究成果等を分かりやすく紹介し、海洋地球科学への関心を高めていただくために講演会を開催致します。

〈どこで〉 青森県青森市安方1-1-1 青森文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ

〈入場料・事前登録〉 無料・不要

〈その他〉 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.jamstec.go.jp/mutsu/j/>

【お問い合わせ先】 独立行政法人海洋研究開発機構むつ研究所 (電話:0175-25-3811)

大間病院だより

「肥満を防ぎましょう」

大間病院 内科医長 高橋 礼

残暑もようやく和らぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。

暦では食欲の秋となりましたが、今回は肥満のリスクについて話したいと思います。

テレビで三村知事が『短命県返上!!』と話しています。平成25年の平均寿命ランキング(厚生労働省公表)によると、青森県の平均寿命は男性が77.28歳、女性が85.34歳で、男女ともに最下位という衝撃的な結果になっています。その原因の一つとして、50~60代の方々が高血圧や脳卒中などで亡くなる割合が他県に比較して高いことが考えられています。

若くしてこれらの病気により亡くなることや後遺症を残すことは、家族や社会にも大きな影響を与えます。

心筋梗塞や脳卒中の原因として高血圧や高脂血症、糖尿病など(いわゆる生活習慣病)がありますが、肥満は体内のホルモンバランスを狂わせて血圧や血糖値を上げ、中性脂肪やLDLコレステロールなどの血中脂質を増加させます(メタボリックシンドローム)。

特定健康診査(メタボ健診)の結果から、青森県の中でも下北半島は特に肥満の方の割合が高い地域であることがわかっています。個人的にも、マイカーでの移動が多く運動不足になりやすいこと、また食事がおいしく食べすぎる傾向になることから太りやすい環境であると考えています。

肥満であることは膝や腰を痛め、将来的に運動量が減る→太るという悪循環に陥り、寝たきりになるなど生活の質を著しく低下させるおそれがあります。

このように肥満はさまざまなリスクをもたらしますが、意識や行動の変化で改善することが可能です。

多くの方が考えるように、太るか痩せるかは摂取カロリー(食事量)と消費カロリー(代謝量+運動量)のバランスで決まります。摂取カロリーが消費カロリーを上回れば太ります。

実は運動により消費できるカロリーは結構少ないです。例えば茶碗1杯のごはん(約250kcal)を消費するためには約1時間のウォーキングが必要となります(体重や距離で異なります)。雪が降るなど運動習慣の確立が難しいこの地域においては、ダイエットのためには食事量を減らすことだと思われがちです。ただし現時点で糖尿病や肝臓病で治療中の方は、ダイエットを始める前に医療機関で相談してください。

自分のため、家族のために食習慣を見直してみましましょう。気になる点、相談したいことがある方は、病院を受診してください。

軽油引取税と不正軽油について

軽油引取税とは、バスやトラック等の燃料である軽油の引取り（購入など）に対して、1リットルにつき32円10銭が課税される県の税金です。

不正軽油とは、県知事の承認を受けずに、軽油に主に灯油や重油を混ぜて、軽油と偽り製造、販売及び使用されているものです。

この不正軽油の製造、販売及び使用することは法律で禁じられている脱税行為であり、軽油引取税の脱税にとどまらず、環境汚染の原因にもなっています。

不正軽油を製造、販売及び使用すると、罰則として、10年以下の懲役や3億円以下の罰金などに処せられるほか、不正軽油に使用されることを知りながら材料を提供・運搬した人、不正軽油を製造する場所を提供した人などもすべて罰せられます。

次のような不正軽油に関する情報がありましたら、下北地域県民局県税部までご連絡ください。

- 不審な施設にタンクローリーが頻繁に出入りしている。
- 著しく廉価な軽油を売り込みに来た。
- 自動車の燃料に灯油や重油を使用している。

不正軽油の撲滅にご理解・ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】下北地域県民局県税部 電話番号：0175-22-8581（内線207）

下北地域県民局公開講座 第2弾！

「できない」を
「できる！」に変える



講師：東京農業大学教授 **木村俊昭氏**
(元小樽市役所スーパー公務員)



講師は、小樽市役所職員時代に、ガラス工房を誘致し小樽をガラスの街としてのブランド化を進めるなど、まちづくりの実績を上げ、2006年から5年間、内閣府、農林水産省などに出向、地域活性化の政策立案に関わった。

休日は各地で講演や現地アドバイス活動を行うほか、北陸先端科学技術大学院大学、早稲田大学大学院、東京農工大学、小樽商科大学ほかの非常勤講師などを務め、スーパー公務員と称された。

2009年5月、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で取り上げられた。著書に「『できない』を『できる！』に変える スーパー公務員・木村俊昭の人と地域を元気にする仕事術」（2010年1月、実務教育出版）などがある。

現在、東京農業大学教授のほか、公益社団法人日本青年会議所アドバイザー兼地域プロデューサー育成塾長、地域活性化学会理事（北海道支部長）、一般社団法人北海道活性化機構代表理事など。

◎日 時

平成26年10月25日（土）午後1時30分～3時10分

◎場 所 下北文化会館

◎参加費 無料

◎申込先・お問い合わせ先 下北地域県民局地域連携部地域支援室 横山

電 話：0175-22-8581 内線343番
FAX：0175-22-1176

青森県 河川砂防課からのお知らせ

● これからの台風シーズンに備えて・・・河川防災情報を提供しています。

◆ ご家庭のテレビで、河川の水位と雨量が確認できます。

「地上デジタル放送」の「データ放送」で、河川防災情報（水位や雨量）をわかりやすく、リアルタイムにご家庭のテレビで確認できるようになりました。



・操作方法は至って簡単。

NHK総合にチャンネルを合わせ、テレビのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「防災・安心情報」を選び、決定ボタンを押して「河川水位・雨量」を選択します。

◆ 洪水への警戒と避難準備に「洪水おしらせメール」を活用しましょう。

・洪水おしらせメールとは、

皆さんがお住まいの地域を流れる「川の水位情報」を、お手持ちの「携帯電話にメール」でお知らせします。時間的な余裕をもって、洪水に対する心構えや避難準備ができます。



次のQRコードを読み取り、ご希望の観測所を登録してください。詳しくは青森県庁ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>へアクセスし、「お知らせメール」を検索。

● 土砂災害への警戒と避難に「土砂災害警戒情報メール通知サービス」を活用しましょう。

・「土砂災害警戒情報メール通知サービス」とは、

皆さんがお住まいの市町村に「大雨警報」、「土砂災害警戒情報」が発表されたことを、お手持ちの「携帯電話やパソコンにメール」でお知らせします。

大雨警報が発表された際は、避難準備をしましょう。

土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに安全な場所に自主避難をしましょう。

下記のQRコードを読み取り、登録画面からメールアドレスを登録できます。その際、ご希望の市町村を選択できます。（下記のURLの登録画面からもメールアドレスを登録できます。）

登録QRコード 登録URL

<https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/registmail/index.html>



【お問い合わせ】

県土整備部河川砂防課 企画・防災グループ

TEL 017-734-9662

下北地域県民局地域整備部 河川砂防施設課

TEL 0175-22-1231

年金 だより

天災による国民年金保険料 免除制度について (国民年金部)

風水害等の災害で大きな被害を受けたことにより、国民年金保険料の納付が困難な場合、申請をして承認されると、保険料の全額が免除される制度があります。

国民年金の場合、震災・風水害・火災その他これらに類する災害により、被保険者の所有に係る住宅、家財、その他の財産につき、被害金額がおおむね2分の1以上の損害を受けたときが対象となります。

1. 申請に必要な書類

■国民年金保険料免除・納付猶予申請書

■(原則として)

罹災証明書、または被害農林漁業者等と認定された被害認定書の写し

■(罹災証明のみで被害の程度が判断できない場合)

国民年金保険料免除・納付猶予申請に係る被災状況届

■(保険金・損害賠償金等が支給される場合)

保険金・損害賠償金額等の確認できる証明書の写し

(※ご本人以外の方が提出される場合は委任状が必要です。)

2. 免除される期間

■事由の生じた日の前月分から翌年の6月分まで

(※保険料の納付が困難な場合は、早めの申請をしてください。)

3. 免除された期間の年金は

■全額免除された期間の老齢基礎年金額は、保険料を納めた場合の2分の1で計算されます。

■保険料が免除された期間は、10年以内であれば、あとから保険料を納める(追納する)ことができます。追納することにより、将来、減額される年金額を増やすことができます。

■保険料免除期間の翌年度から起算して、3年度目以降に追納する場合は、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

※詳しい内容につきましては、むつ年金事務所(22-2278)までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 むつ年金事務所(22-2278)
風間浦村役場税務国保課(35-2111)

健康だより

『(病院)受診』と『健診』の違いわかりますか？

村では毎年、住民のみなさんを対象とした健診を実施しています。しかし、住民の方の中には、「定期的に病院を受診しているから大丈夫！」という声がよく聞かれます。

しかし、『(病院)受診』と『健診』はそもそも目的が違うものであり、適切に受けないと病気の発見や治療が遅れてしまう可能性もあります。きちんと目的を理解して受診するようにしましょう！

○『健診（健康診断）』

- ・・・自覚症状がない人が健康であるかを調べるものです。
幅広い項目の検査を行い、もし結果が悪ければ精密検査や生活習慣改善を行っていくものです。

○『(病院)受診』

- ・・・自覚症状がある人が「特定の病気があるかどうか？」を調べるために行います。医師は、患者さんが訴える症状をもとに検査や治療を行っています。⇒症状がない項目は検査しません！

こういう場合はどうすればいいの？

☆『数ヶ月前から、胃のあたりが痛かったり、ムカムカする。

健診受診すれば、病気がどうかははっきりするからそれまで待っても大丈夫なのかなあ？』

⇒はっきりと症状が出ているということは何らかの異常があると考えられます。

健診は結果が出るまで時間もかかり、病気の発見治療が遅れてしまう可能性もありますので、すぐに病院を受診しましょう！

☆『病院を受診してるから、健診受けなくてもいいでしょ？』

⇒病院ではその人の症状にあった検査をしているため、症状がない項目は検査されていないことが多いです。つまり、自覚症状がなくても病気が隠れている場合もあるため、健診で調べてみるのが重要です！

何か気になること、相談したいことがあれば、遠慮なく村民生活課までご連絡ください！

村民生活課 保健衛生グループ 電話 35-3111

社協だより

Vol.254

ご協力ありがとうございます ～赤い羽根共同募金運動～

毎年10月から年末にかけて実施される「赤い羽根共同募金運動」につきましては、皆様のご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

青森県内の共同募金運動は、社会福祉法人である「青森県共同募金会（県共募）」が実施しており、各市町村社協が「共同募金委員会」を設置して募金活動に協力しています。

集められた募金は、翌年度に県内の社協やNPO法人、福祉施設、福祉団体などの事業費として助成されるほか、大災害に備えた積立金、県共募運営費に使われます。

25年度の実績により風間浦村社協には、26年度に36万円が助成され、「移送サービス事業」に使われています。

皆様には、地域福祉事業の趣旨をご理解下さり、社協で依頼した「募金ボランティア」の方々が訪問した際には、温かい善意を寄せて下さいますようお願い申し上げます。

◎25年度募金実績額

五二一、四三二円

◎26年度募金目標額

五二〇、〇〇〇円

○移送サービス事業について

移送サービスは、住民の皆様にご協力いただいている「社協賛助会費」や、今回紹介した「赤い羽根共同募金」の地域還元である共同募金助成金を財源とし、総事業費の不足分は風間浦村からの補助金で賄われています。

平成25年度は、延べ930人の方々が利用しています。

【利用対象者】

次の状態にあり、家族による送迎や公共交通機関での移動が困難な方。

- ・寝たきりの方
- ・車椅子を使われている方
- ・歩行が困難な方
- ・その他、心身に障がいのある方

【利用目的】

- ・通院や入退院、施設への移動



移送サービス車
(24時間テレビ寄贈)

赤い羽根募金実績表（過去5年）

(単位：円)

		25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
目 標 額		530,000	520,000	520,000	470,000	600,000
実 績 額		521,432	528,671	510,301	505,279	598,658
達成率 (%)		98.4	101.7	98.1	107.5	99.8
内 訳	戸 別 募 金	441,700	434,170	442,530	448,300	532,310
	職 域 ・ そ の 他	54,040	73,400	43,635	48,892	55,547
	学 校 募 金	25,692	21,101	24,136	8,087	10,801

新理事・評議員紹介

理事の欠員補充、評議員選出団体の異動などに伴い、6月より次の方々が就任されておりますので、ご紹介致します。

理事は定数12名、評議員は定数26名（そのほか監事2名）で、民生委員、福祉団体等の福祉関係者、自治会等住民組織や公的機関の代表者等により構成され、次の事項は理事会および評議員会の議決を要します。

- ① 「予算・決算、事業計画・報告、基本財産の処分」
- ② 「予算外の新たな義務の負担または権利の放棄」
- ③ 「定款の変更・合併・解散」

【新理事】

(任期：平成27年4月30日迄)

○学識経験者

池 田 修

(欠員補充)

【新評議員】

(任期：理事に同じ)

○連合PTA会長

森 脇 公 洋

(同会長 酒井 敦弘)

○校長会長

葛 野 一 彦

(校長会長 佐々木 郁穂)

※ () 内は前任者職氏名。敬称略

木下 楓 ちゃん
 H25.8.21生 蛇浦 (保護者：光)
 「おかわり!!」
 いつも食欲いっぱい、楓ちゃん。
 いっぱい食べて、元気いっぱい、
 大きくなってね! 家族より



満1歳になりました。
 これからもヨロシク!!

は
じ
め
ま
し
て



優勝した新谷まどか選手 (中央)
 第3位の石橋学選手 (左から2人目)

第69回市町村対抗県民体育大会が8月16日～17日に下北地区を主会場として開催されました。
 当村からは、陸上競技に新谷まどか選手(易国間小学校事務職員)が町村女子の部(30歳以下)二〇〇mに出場し、見事優勝、大会二連覇を果たしました。また、石橋学選手(蛇浦小学校教諭)も町村男子の部(45歳以上)五〇〇mに出場し、第3位に入賞となりました。
 今後、ますますのご活躍が期待されます。

第69回市町村対抗
 県民体育大会

村税等は納期内に納めましょう!

○10月31日は、村県民税・介護保険料の第3期納期限及び国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の第4期納期限です。

納期内に忘れずに納めましょう!

【お問い合わせ先】 風間浦村役場 税務国保課 (☎ 35-2111)
 村民生活課 (☎ 35-3111)

戸籍の窓

(8月届出分)

●お悔み申し上げます

能 渡 せ つ さん (89歳) 易国間
 嘉 賀 た ゑ さん (93歳) 桑 畑

私たちの村の人口

(8月末現在)

男	1,072人	(先月比+2人)
女	1,098人	(〳 -2人)
計	2,170人	(〳 ±0人)
世帯数	972世帯	(〳 +4世帯)